

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
公告方法	電子公告 (www.nissanchem.co.jp) 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所
株主名簿管理人	中央三井信託銀行株式会社 東京都港区芝三丁目33番1号(〒105-8574)
同事務取扱所	中央三井信託銀行株式会社証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063) 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)
同取次窓口	中央三井信託銀行株式会社各支店 日本証券代行株式会社本店・各支店
1単元の株式の数	1,000株

●住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座に記録されました株主様は、中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて  
中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

●上場株式配当金の支払いに関する通知書について  
租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。配当金額収証にてお受取りの株主様は年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主様は配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際その添付資料としてご使用いただくことができます。

## 第140期中間報告書

平成21年4月1日から平成21年9月30日まで

株主の皆様へ

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間においては、世界同時不況に対する各国の景気刺激策により、大幅な生産調整を緩和する動きがあったことなどから、一部の業種では景気底入れの兆しが見られました。しかしながら、雇用の悪化に伴い個人消費が引き続き低迷していることに加え、設備投資も抑制傾向にあることから本格的な需要回復には至っておらず、今後の先行きに関しては依然として予断を許さない状況が続いております。

このような情勢のなか、電子材料、有機・無機材料などの製品群を擁する化学品部門の業績は、当初計画から大きく改善したものの、前年同期との比較では減収減益となりました。一方で景気変動の影響が相対的に軽微な医薬品部門では、高脂血症治療薬「リバロ」の原薬出荷が好調であったことなどから増収増益を確保いたしました。グループ全体の業績は、売上、利益いずれにおいても前年を下回る結果となりました。

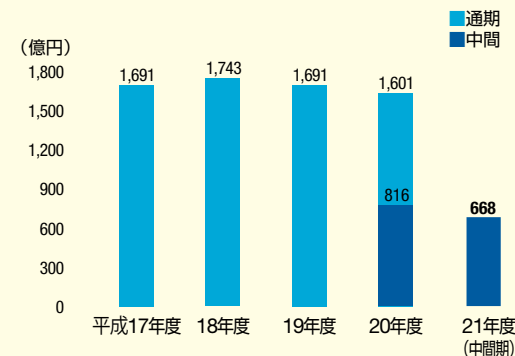
今後の事業環境につきましては、本格的な景気回復までに相当の時間を要することも想定されることから、限られた有望市場をめぐる企業間の競合は一段と激化するものと思われ。当社グループといたしましては、主要製品の競争力、事業体質を徹底検証した上で、今後の方向性の明確化を図ると同時に、新規事業・製品の創出を継続的に強化するなど、総力をあげた取り組みを実施しており、世界に通用するブランド力を備えた「価値創造型企業」として持続的な成長拡大を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

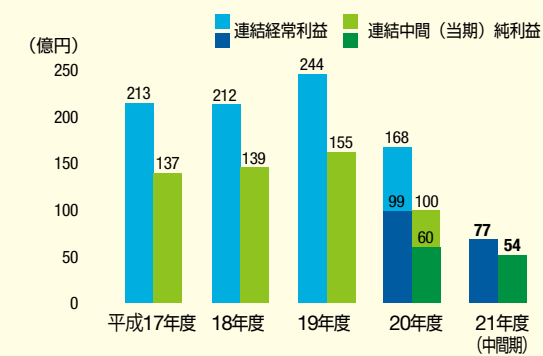
取締役社長 木下 小次郎

	平成17年度(通期)	18年度(通期)	19年度(通期)	20年度(中間)	20年度(通期)	21年度(中間)
売上高 (百万円)	169,149	174,351	169,172	81,684	160,162	66,833
営業利益 (百万円)	21,654	20,844	24,767	9,524	17,437	7,789
経常利益 (百万円)	21,307	21,246	24,446	9,965	16,890	7,754
中間(当期)純利益 (百万円)	13,704	13,992	15,503	6,072	10,052	5,435
純資産 (百万円)	91,953	99,306	101,206	99,326	96,777	101,939
総資産 (百万円)	183,202	177,336	172,660	168,802	172,334	166,378
自己資本比率 (%)	50.2	55.3	58.0	58.2	55.5	60.6
一株当たり中間(当期)純利益 (円)	72.73	75.43	85.15	34.24	57.26	31.54
一株当たり純資産 (円)	491.50	535.29	556.63	558.17	555.14	584.74

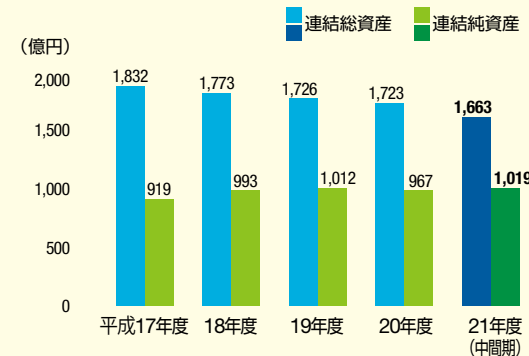
連結売上高



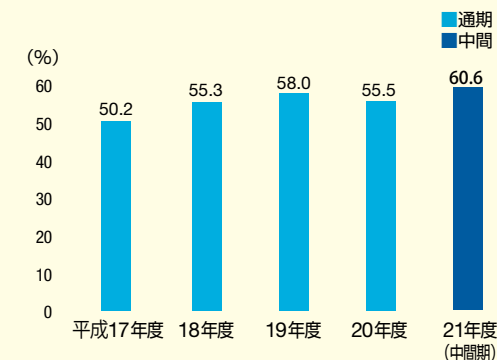
連結経常利益／連結中間(当期)純利益



連結総資産／連結純資産



連結自己資本比率



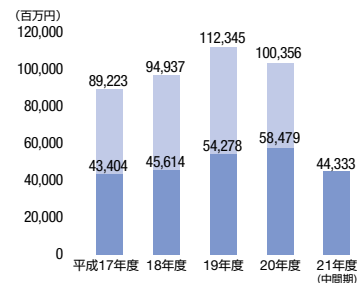
66.3%

## 化学品部門



機能材料研究所

### 売上高



基礎化学品は、世界経済の急速な悪化に伴い、メラミン市況が建築用途向け需要の縮小から大きく軟化したことに加え、アンモニア、硫酸、硝酸など主要製品の売上も販売数量の減少により前年同期を下回りました。また、本年10月からの「ポスト新長期規制」導入を機に、今後の需要拡大が期待されるディーゼル車の排ガス浄化用高品位尿素水「アドブルー」も景気低迷の影響を受け減収となりました。

機能製品では、中国政府による「家電下郷」など世界各国の景気刺激策実施により、昨年秋以降の液晶パネル・半導体メーカーによる在庫圧縮の動きが一巡したこ

とから、「サンエバー」（液晶表示用材料ポリイミド）、「ARC」（半導体用反射防止コーティング材）の売上は、前下半期（平成20年10月1日～平成21年3月31日）からは大きく改善したものの、前年同期との比較では減収となりました。また、「スノーテックス」（電子材料用研磨剤、各種材料用表面処理剤等）、「テピック」（封止材用等特殊エポキシ）など主要製品の売上も前年同期を下回りました。

この結果、当部門の売上高は、443億33百万円と前年同期比141億46百万円の減収となり、営業利益は52億25百万円と、前年同期を24億60百万円下回りました。

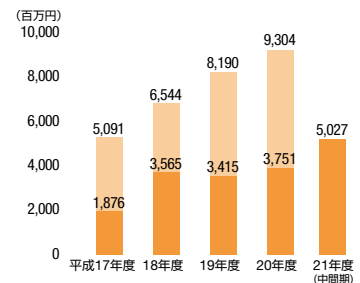
7.5%

## 医薬品部門



高脂血症治療薬 リバロ

### 売上高



高脂血症治療薬「リバロ」は、医療現場におけるシェア拡大に伴い、国内向け原薬出荷が順調に増加したことなどから、当部門の売上高は50億27百万円と前年同期を12億75百万円上回りました。また営業利益は23億88百万円となり、前年同期比11億20百万円の増益となりました。

なお、本年8月に「リバロ」の米国における販売が食品医薬局(FDA)より認可されました。また血小板減少症治療薬(NIP-022)、抗不整脈薬(NTC-801)につきましては、それぞれ臨床開発試験第I相、第II相を開始しております。

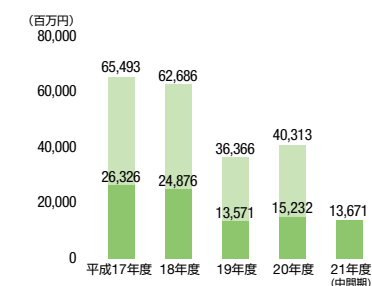
20.5%

## 農業化学品部門



スターマイト(右)  
バリュースター(左)

### 売上高



国内の農業市場では、昨年末に実施された値上げに対する駆込み需要への反動から、流通段階において在庫圧縮の動きが見られ、「ラウンドアップ」（非選択性茎葉処理除草剤）、「シリウス」（水稲用除草剤）、「サンマイト」（殺ダニ剤）の売上が前年同期を下回りました。一方で、本年2月に上市した「スターマイト」（殺ダニ剤）の売上は純増となりました。

海外では、景気後退による穀物価格下落の影響を受け、畑作用除草剤の分野で「パーミット」の売上が減少したものの、「タルガ」はアジア向け出荷が拡大したことから増収となりました。

この結果、当部門の売上高は136億71百万円と前年同期を15億60百万円下回り、営業利益は1億45百万円となり、前年同期を6億30百万円下回りました。

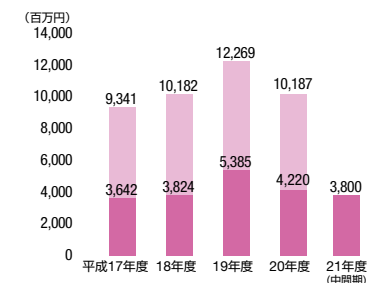
5.7%

## その他の部門



国営明石海峡公園

### 売上高



造園緑化工事、物流などの事業は、受注量の減少、受注単価の下落など厳しい環境に直面しており、当部門の売上高は38億円と前年同期を4億19百万円下回ったものの、コスト削減の効果などから営業利益は1億19百万円と前年同期比94百万円の増益となりました。

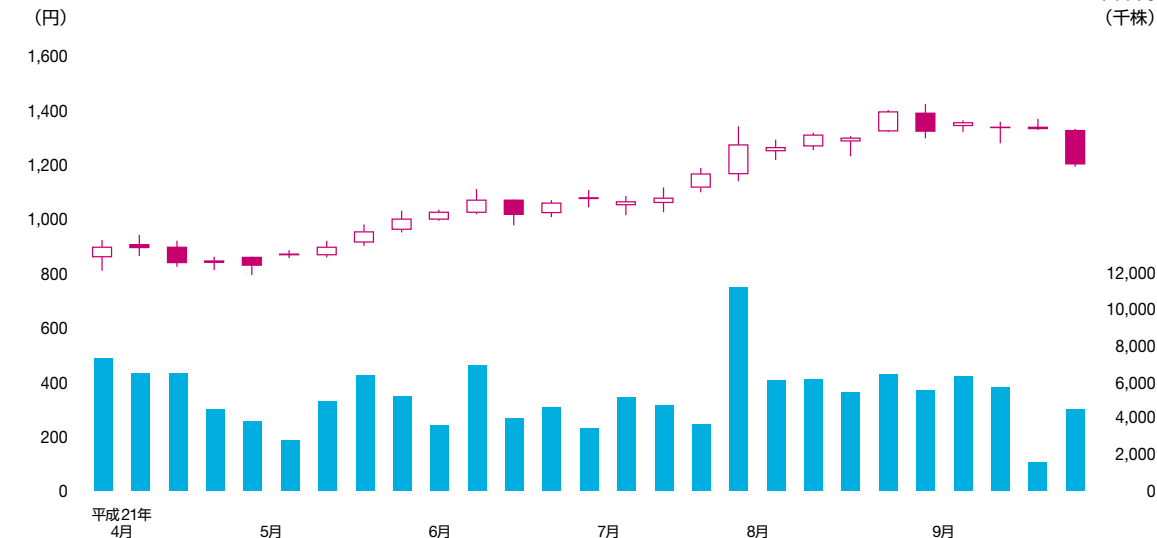
### 米国食品医薬品局が「リバロ」販売を認可

本年8月、高脂血症治療薬「リバロ」の米国における販売が、米国食品医薬品局(FDA)より認可されました。「リバロ」は、医療現場において高い評価を獲得している高脂血症治療薬で、強力なLDLコレステロール低下作用を示すストロングスタチンとして2003年に国内で上市し、現在では韓国、タイ、中国での販売が行われています。グローバルな展開を担う興和㈱では、強力なコプロモーション先との提携も視野に、発売5年目の米国売上目標を500億円以上としており、2010年にはEUでの上市も予定されています。巨大市場における販売開始を契機に、「リバロ」原薬出荷の更なる拡大を図ってまいります。



小野田工場 リバロプラント

### 株価及び出来高 (平成21年4月～平成21年9月)



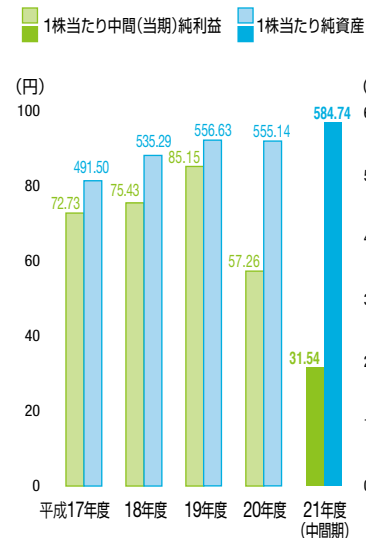
### 「シリウスターボ」広告部門優秀賞受賞



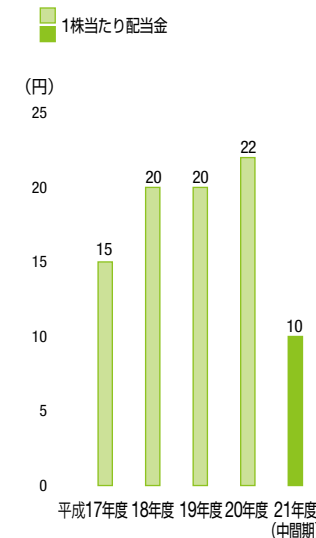
「シリウスターボ」新聞広告

水稲用一発処理除草剤「シリウスターボ」の新聞広告が、2008年度日本農業新聞広告部門優秀賞を受賞いたしました。水稲用一発処理除草剤の市場は、250もの競合剤がひしめいており、各JAが農家に配布する注文書に掲載される薬剤はこの内わずか6銘柄程度、更に農家に実際に選択してもらわなければならないという激戦市場です。今回の広告は、田園風景に「日本の田んぼをきれいにしたい」というコピーを添え、「シリウスターボ」を使用することによる満足感・安心感をアピールしたもので、様々な媒体を通じシリウスブランドの浸透、確立を図っていくことにより、激しい競合状況のなかでの一層の販売拡大を目指してまいります。

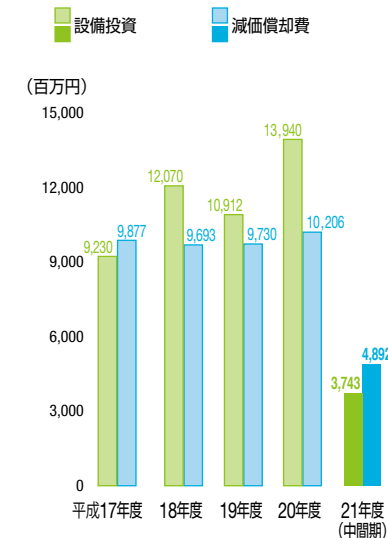
### 1株当たり中間(当期)純利益 / 1株当たり純資産



### 1株当たり配当金



### 設備投資 / 減価償却費



連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	140期中間期 (H21.9.30)	139期 (H21.3.31)	科 目	140期中間期 (H21.9.30)	139期 (H21.3.31)
流動資産	91,266	98,494	流動負債	42,177	53,108
現金預金	13,135	9,671	買入債務	13,418	13,425
売上債権	39,896	51,262	<b>A</b> 短期借入金	15,305	25,820
たな卸資産	32,637	30,947	その他	13,453	13,861
その他	5,597	6,612	固定負債	22,261	22,459
固定資産	75,112	73,850	<b>A</b> 長期借入金	19,588	19,649
有形固定資産	50,500	51,658	その他	2,673	2,810
無形固定資産	849	812	負債合計	64,439	75,567
投資有価証券	21,334	18,178	資本金	18,942	18,942
その他	2,427	3,199	資本剰余金	13,611	13,611
資産合計	166,378	172,344	利益剰余金	69,425	65,713
			自己株式	△1,903	△1,875
			評価・換算差額等	682	△719
			少数株主持分	1,181	1,104
			純資産合計	101,939	96,777
			負債・純資産合計	166,378	172,344

POINT

**A** 短期借入金／長期借入金

有利子負債残高は、前期末に比べ10,576百万円減少し、34,893百万円となっています。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	140期中間期 (H21.4.1~H21.9.30)	139期中間期 (H20.4.1~H20.9.30)
<b>B</b> 売上高	66,833	81,684
売上原価	42,163	54,539
販売費及び一般管理費	16,880	17,619
営業利益	7,789	9,524
営業外収益	1,320	1,818
営業外費用	1,355	1,377
経常利益	7,754	9,965
特別利益	—	—
特別損失	—	382
税金等調整前中間純利益	7,754	9,583
法人税、住民税及び事業税	2,556	3,408
法人税等調整額	△299	60
少数株主持分損益(減算)	61	42
中間純利益	5,435	6,072

**B** 売上高

売上高のうち、国内売上高は47,349百万円、海外売上高は19,484百万円となっています。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	140期中間期 (H21.4.1~H21.9.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,437
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,615
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,370
現金及び現金同等物に係る換算差額	11
現金及び現金同等物の増減額	3,463
現金及び現金同等物期首残高	9,671
現金及び現金同等物期末残高	13,135

